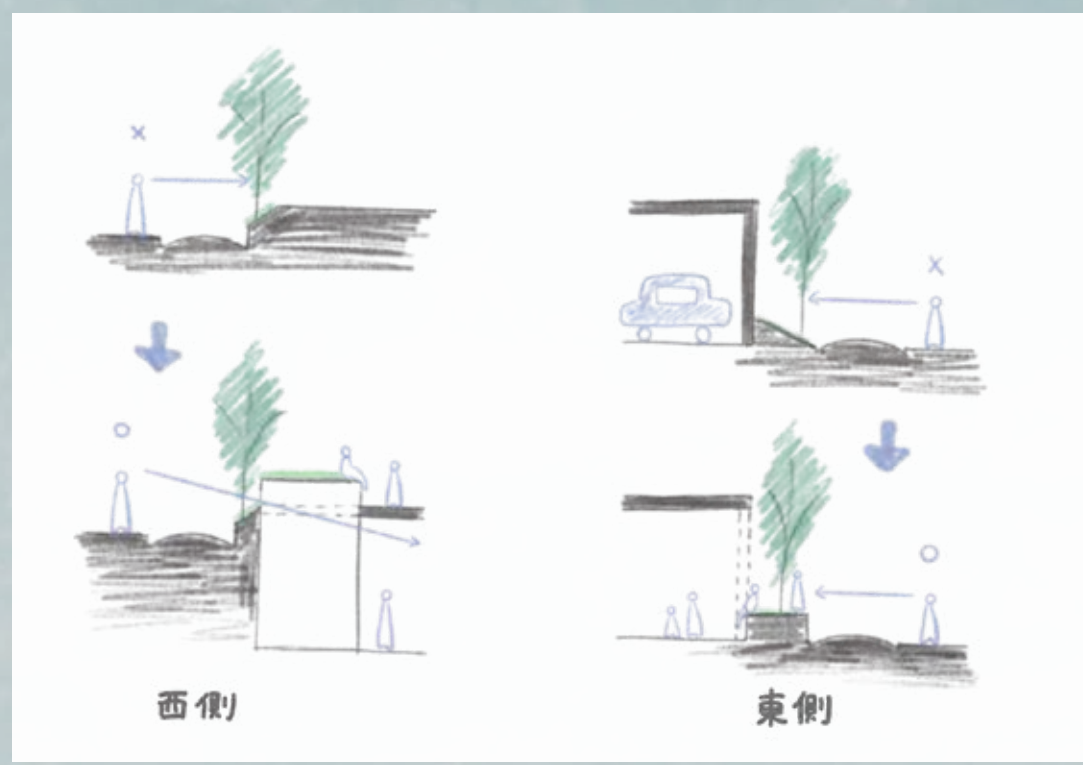


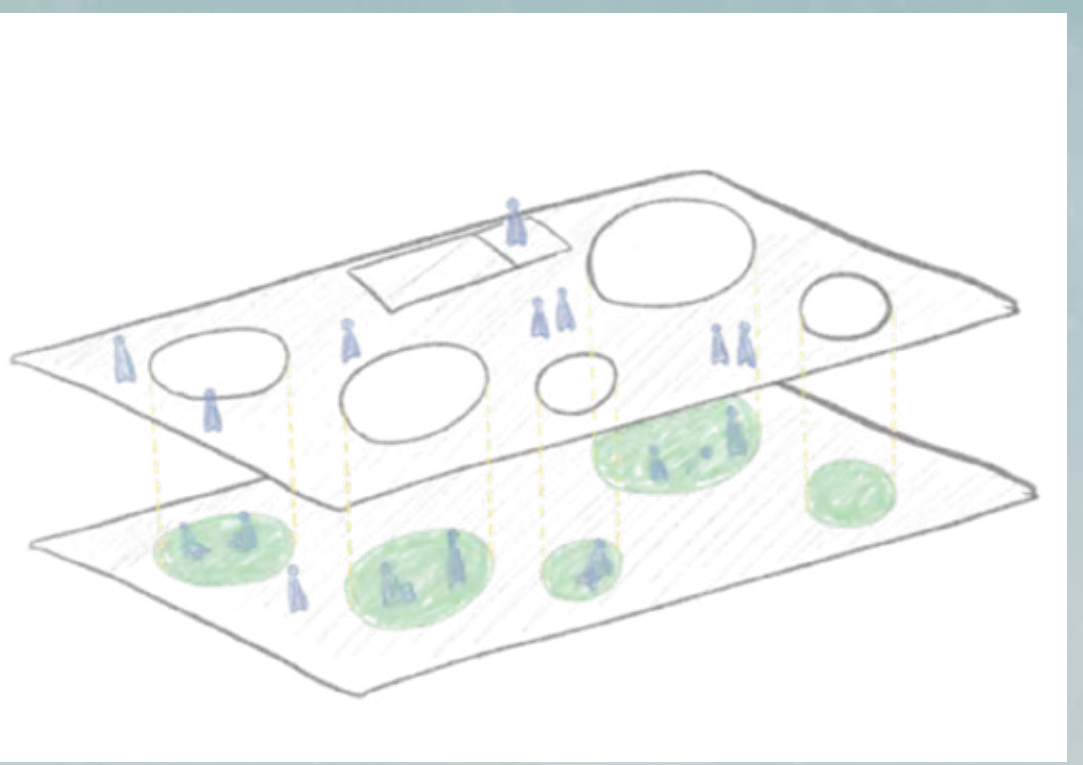


AMAGURA

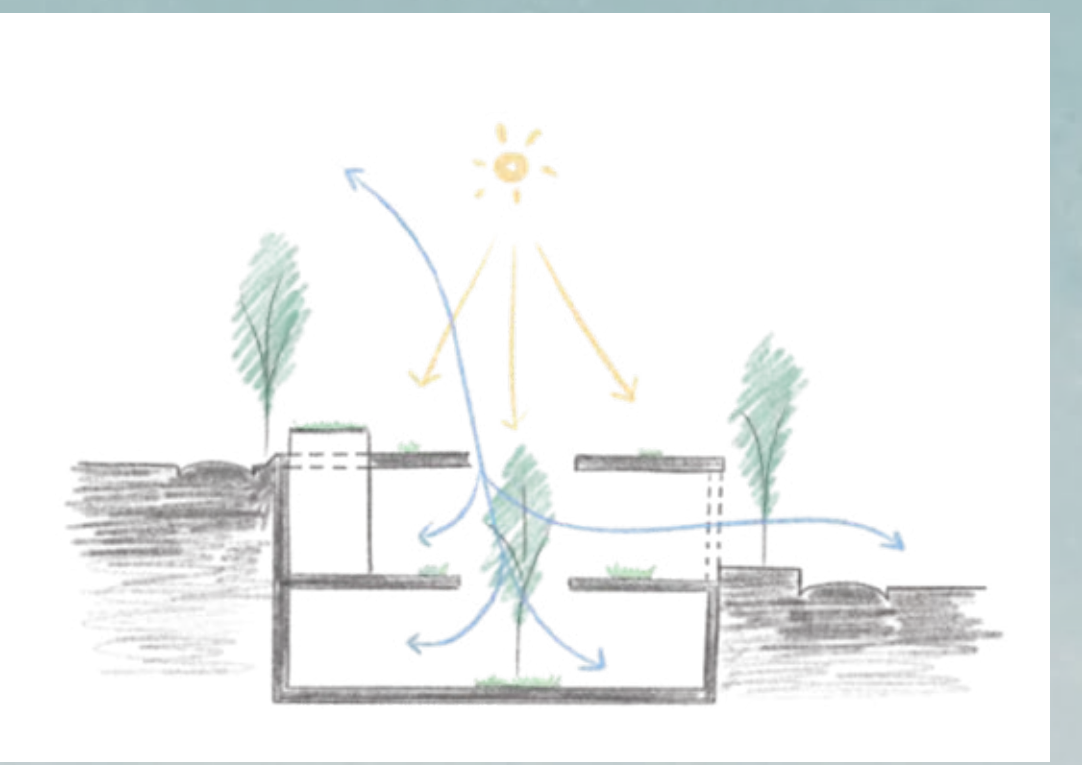
現在の久屋大通南エリアは、道路による広場と歩道の分断や東西の高低差によってできた壁、単一的な空間構成によって広場空間が孤立してしまっている。そこで地下駐車場をピロティにして地上と地下のつながりをつくり、地上はにぎわいを地下には落ち着ける空間にすることで空間の二層化を目指したい。いずれは久屋大通に日時や天候にかかわらず、人々がいつでも集まり、にぎわいに満ちた空間となるだろう。



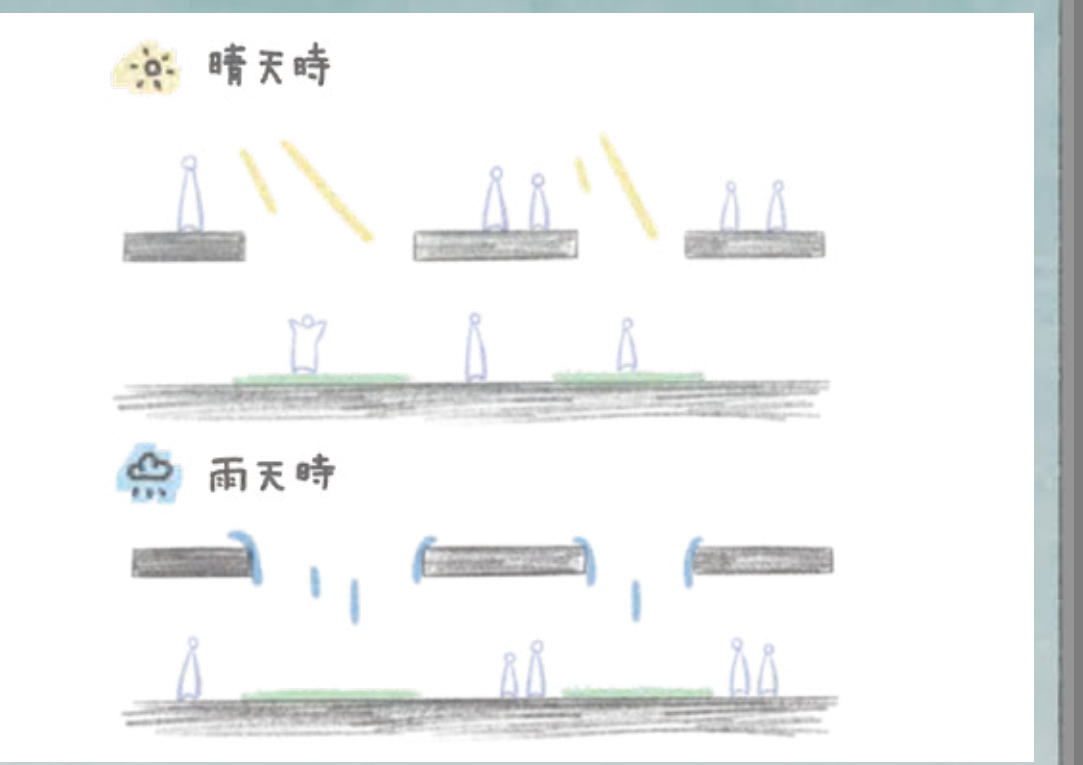
東側では、地下駐車場の壁を無くしてピロティ化することで視線が通り開放感が生まれる。現状木々が生えている場所を歩道にすることができる。西側では、覗き窓を設けることで地上から地下の様子を見ることができる。屋根面に芝生があり、ベンチとして使うなど自由な使い方ができる。



吹き抜けを自由な大きさや配置で設けることで多様な使われ方が生まれる。地上での広い空間はステージ、小さい空間では出展ブースとして使われたり、地下での広い空間はピクニック、小さい空間では一人寝スペースとして使われたりと様々な使い方をすることができる。



久屋大通にあふれる緑を地上だけでなく地下にも設けるために芝生を植える。芝生には空気を浄化する作用があるため、地下室内の空気が綺麗になる。吹き抜けから自然光が入り、風通しが良くなることで地下特有の閉塞感が減り、ゆったりとした空間で快適に過ごすことができる。



晴天時は吹き抜けから日光をあびて元気になる。地下が避暑地になり暑い日でも快適に過ごすことができる。芝生スペースを休憩所として使うことができる。雨天時は雨が降り、雨にはリラックス効果があるため雨音を聞くことで落ち着ける空間となる。また、ピロティ空間が雨天時の通路ともなる。

